

● 〈動詞の連用形〉 + 〈動詞〉 の場合、原則としてあとの〈動詞〉は開く。

- 振りかえる ×振り返る
- 考えこむ ×考え込む

*可読性を考慮して、以下は例外とする（下記は一例。別紙参照）。

- 立ち尽くす
- 飛び散る
- 取り乱す
- 取り繕う
- 取り憑く

* 〈～だす〉の言葉は、

物理的・抽象的に「外へ出す」の意の場合〈～出す〉、
「～をし始める」の意の場合は〈～だす〉。

- 踏み出す（足を前に出す）
- 歩きだす（歩き始める）

● 「テンシ」は、この作品のオリジナルキャラクターである化け物を指す場合はカタカナ。
一般的な「天使」（angelの意）の場合は漢字。

*キャラクターが真相を知るまでは、相手が「テンシ」と言っている場合も「天使」と表記。

● 作品中の専門用語に、山形カッコ〈 〉をつける（下記は一例。別紙参照）。

- 〈テンシ〉
- 〈えいりあす〉
- 〈でもんず〉
- 〈ゆーとびあ〉

● 作品中、特別な使い方をしている道具に、山形カッコ〈 〉をつける（下記は一例。別紙参照）。

〈電話〉 スマートフォン、ケータイの機器を指す場合。
「電話をかける」のような行為を表す場合は、カッコをつけない。

〈人形〉 テンシの髪の毛を封じたもの。封じる前のものはカッコをつけない。

〈カメラ〉 スマートフォン、ケータイについているカメラ機能。

〈塩〉 バケモノ退治に使う道具。

●実在の建物や駅の名前に山形カッコ〈 〉をつける。地名（街の名前、川、山など）にはつけない。

また、以下は例外的に〈 〉をつける。

〈郡上おどり〉
〈徹夜おどり〉
〈おどり教室〉
〈郡上おどりの像〉

●ルビは、セクションの初出につける（すべてにはつけない）。

*セクションは数字で表された区切り。

●以下は文脈によって使い分けることとし、あえて統一しない。

○他人 「ひと」と読ませる（ルビあり）の場合と、
「たにん」と読ませる（ルビなし）場合もあり。

○お姉さん 実の姉の場合「お姉さん」、年上の女性もしくは若い女性の場合「おねえさん」

○体 特別な意味を持たせる場合「カラダ」。

●『ハルカ』では、口癖のように、「～だから」という言い回しを多用する。

●『マヨ』の第三部からは、文体を固くする。

○「～だけど」→「～だが」、など

人稱一覽

| 呼ばれる人 | マヨ | ハルカ | マヒル | ナツミ | サキ | ヤヨイ |
|-------|--------------------|---------------|--------------------------|---------------------|-------------|----------------------|
| 呼ぶ人 | | | | | | |
| マヨ | 私 | ハルカ | マヒル | ナツミ | サキちゃん サキ | ヤヨイ |
| ハルカ | マヨ先生 先生 | わたし | マヒルさん マヒルセンパイ センパイ | ナツミさん | サキ | ヤヨイさん ヤヨイ先輩 先輩 |
| マヒル | センセイ | ハルカ | あたし | ナツミおねえちゃん おねえちゃん | サキ | ヤヨイ |
| ナツミ | マヨ | ハルカさん ハルカ | マヒル | わたし | サキさん | ヤヨイさん |
| サキ | マヨさん マヨ先生 先生 | センパイ ハルカさん | マヒルさん マヒル先輩 先輩 | ナツミさん | わたくし ボク | ヤヨイさん ヤヨイ先輩 先輩 |
| ヤヨイ | マヨ先生 先生 | ハルカ | マヒル あいつ | ナツミさん | サキ | ウチ |